

脱ワンオペ育児 in 西宮 ～地域で支える子育て～

特定非営利活動法人 a little

事業費 371,024 円
助成額 296,000 円

●当初の課題・事業目的

西宮は転勤族や結婚を機に転入されてくる世帯が多く、つながりのないまま産前産後を過ごす方が多くいます。またコロナ禍で交流や情報も遮断されていました。知り合いのいない中での子育ては孤独に陥りやすく心身に影響します。このような状況では、たわいのない会話から得られる安心感や子育ての先輩となるロールモデルとの出会いがなくなり、他の家庭の子育ての状況も見えなくしてしまいます。そこで、地域資源と産前産後家庭をつなぎ合わせることを目的として事業を行いました。



理事長 坂口 裕子

●事業概要

事業の柱

柱1 パートナーシップ講座：パートナーと協力し、地域資源とつながり、健やかな産前産後を過ごせるよう情報提供を目的に講座を開催しました。

(2023年2月11日(土祝) 西宮市市民交流センター 参加者6人)

内容：産前産後の心身の変化、妊娠中に出来る準備や子育てについてのお話、バースプランの作成など。

柱2 ファザークラス：男性同士のコミュニティ作りを目的に講座を開催しました。

(2023年1月22日(日) 西宮市市民交流センター 参加者11人)

内容：年齢に応じた子どもの関わり方、遊び方など。

柱3 子育て情報誌：西宮で子育てしている方がライターになり、にしのみや子育て情報誌を作成しました。

(「にしのみや子育てマガジン」 5,000部)



●事業の成果・工夫した点

西宮にある官民両方の情報提供が出来るように考えました。情報誌では男らしさ、女らしさなどのジェンダーの表現をなくし、誰もが心地よく読める紙面を心がけました。また、多くの方に手に取ってもらえるよう、デザイナーに協力してもらい、スタイリッシュに仕上げました。

●苦勞した点・今後の課題

全域をバランスよく紹介したいと考えていましたが、子育て世帯向けの地域資源の情報集めに苦勞しました。今後も続けていき、認知度を上げることで広く情報を収集していきたいです。

講座では広報のタイミングが合わず、うまくできませんでした。広報スケジュールを詰めて計画していくことが大切だと分かりました。

●代表者の感想

多くの協力を得て事業が実施出来ました。子育て情報誌では作成過程で多くの支援団体さんや産前産後家庭のみなさまに紙面作成のためのアンケートなどで協力してもらい、地域のニーズがより明確になり、活動の軸になりました。ありがとうございました。